

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
1 事故が起きたら逃げられるのか	5月29日、仙台国際センターにおいて「脱原発をめざす宮城県議の会」主催による「市民による女川原発の安全性を問うシンポジウム」に参加してきました。「福島原発事故そのとき浪江町民は」と題して浪江町長馬場有氏や、「原発避難計画の実効性を問う」と題して、環境経済研究所代表上岡直見氏の講演をお聞きしました。
	また、石巻市の防災担当者の方々なども加わってのパネルディスカッションもあり、改めて原発事故が起こったら、私たちは安全に逃げられるのかという疑問を持たざるを得ませんでした。
	そこで、次の点について伺います。
	(1) 避難計画策定にあたり、様々な問題点が浮かびあがってくると思いますが、道路が渋滞、または寸断され不通になることも考慮していますか。
	(2) 本町のみならず、石巻市を含めての近隣市町との連携なしには、実効性があるとは言えないのでは。
	(3) 原発に対する不安の声が多く聞かれるなか、来年4月以降の女川原発再稼働有無の判断にあ

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
2 盛土工事に伴う交通手段の改善を	たつては、やはり住民の皆さんの意見を十分に
	くみ取る必要があります、そのための努力が当然な
	されるべきではないでしょうか。
	(質問の相手：町長・担当課長)
	5月に開催された議会・住民懇談会では、町に対
	して様々な要望が出されました。
	その中で、堀切住民の方々より、盛土工事で国道
	398 号の浦宿から医療センター前までは通行止とな
	っており、病院へ行くのにも歩いては非常に遠回り
	になり、町民バスの時間帯も合わず、タクシー利用
	が多く、以前よりもタクシー代の負担がかなり大き
	く、生活が大変であると訴えられました。
	3年後の町の復興まで、我慢して協力してほしい
	というは、あまりにも酷ではないでしょうか。何ら
	かの改善策が必要と思われますが、次の点について
	伺います。
	(1) 病院へ行く仮の道路を造る計画は。
	(2) 堀切だけでなく、清水方面の方々も同様に不
	便を強いられています。町民バスの回数を増や
	すとか、フリー乗降区内にする、あるいはデマ

質問者 阿部 律子

質問事項	質問の要旨
	ンドタクシーを活用するなど、利便性を高める工夫を。
	(質問の相手：町長・担当課長)